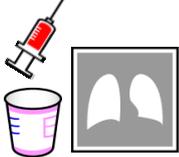
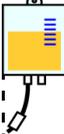
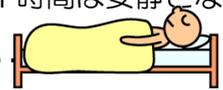


経過	入院日	検査前日	検査当日		翌日 (退院予定日)
			検査前	検査後	
目標	安定した状況で、検査が受けられる。検査後合併症がなく過ごすことができる。				
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()		月 日 ()
検査	採血・検尿、レントゲン検査があります。 		： に車椅子に乗って検査室へ向かいます。検査中は気管や気管支の内側の壁を観察したり、肺の組織を取ったり（生検）、生理食塩水で洗ったり（気管支肺胞洗浄）、痰や異物を取り除いたりします。基本的に痛みはありません。検査中は血圧や呼吸状態を観察しながら医師や看護師が常にそばについています。気管支鏡を入れているときに息苦しく感じますが窒息することはありません。咳が出そうになっても我慢して下さい。声を出せないで、苦しい時は手を上げて合図して下さい。意識はありますので安心して検査を受けて下さい。		
治療処置			午前中に点滴の針を入れます。検査30分前にのどの麻酔のを吸入して唾液の分泌を抑え、咳止めや不安を取り除くための筋肉注射をします。入れ歯は外して行きます。		
内服点滴			朝から抗生剤の内服が始まります。昼の薬は11時に少ない水で内服します。検査室に行く前に止血剤の点滴を始めます。	 点滴終了後に点滴の針を抜きます。	
排泄			検査前に排泄を済ませておいて下さい。	必要に応じて、車椅子介助や尿器の設置を行います。	
食事	通常の食事が出来ます。		11時以降は飲食禁止となります。昼食は欠食です。	麻酔の薬でのが麻痺していますので検査後2時間は飲食ができません。2時間後にうがいをし喉のしびれがとれたことを看護師が確認したら飲水と飲食が出来ます。	通常の食事が出来ます。
安静度				検査後1時間は安静となります。 	
清潔	 検査の準備前までは入浴可能です。				 入浴可能です。
指導説明	主治医から検査についての説明があります。 	看護師から検査についての説明があります。 	検査により痰や唾液に少量の血液が混じることがありますが、少量であれば心配ありません。胸部痛やのどの痛み、血痰があればナースコールで看護師を呼んで下さい。		
メモ					

※患者さんの状態に応じて予定が変更となる場合があります。